

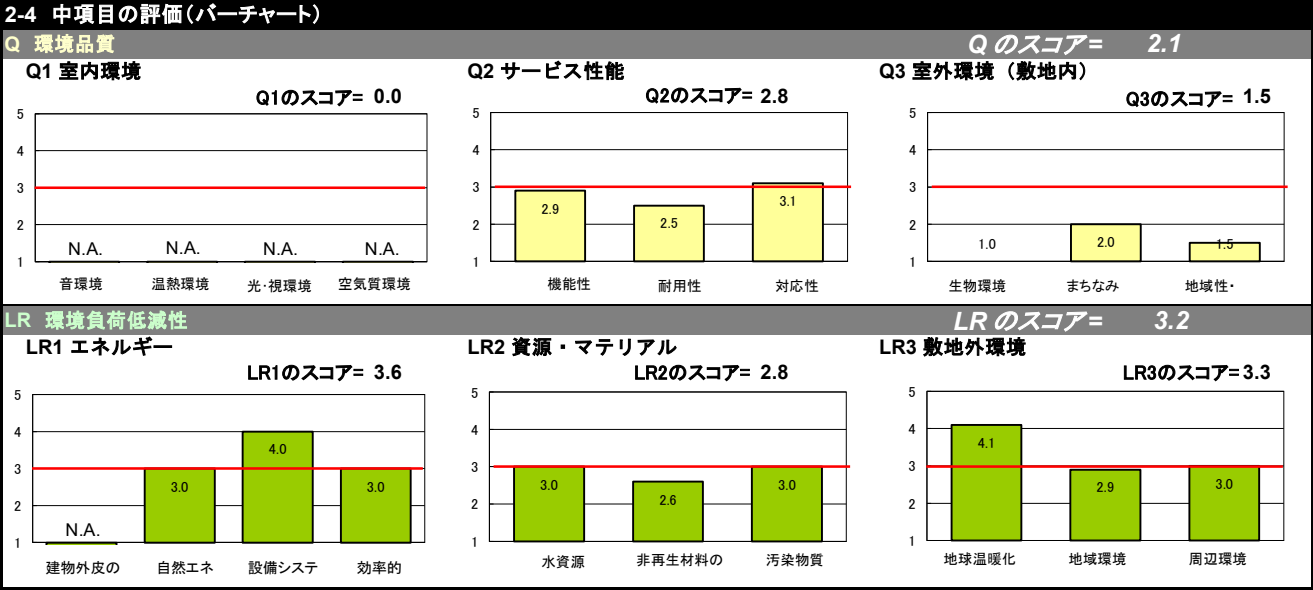
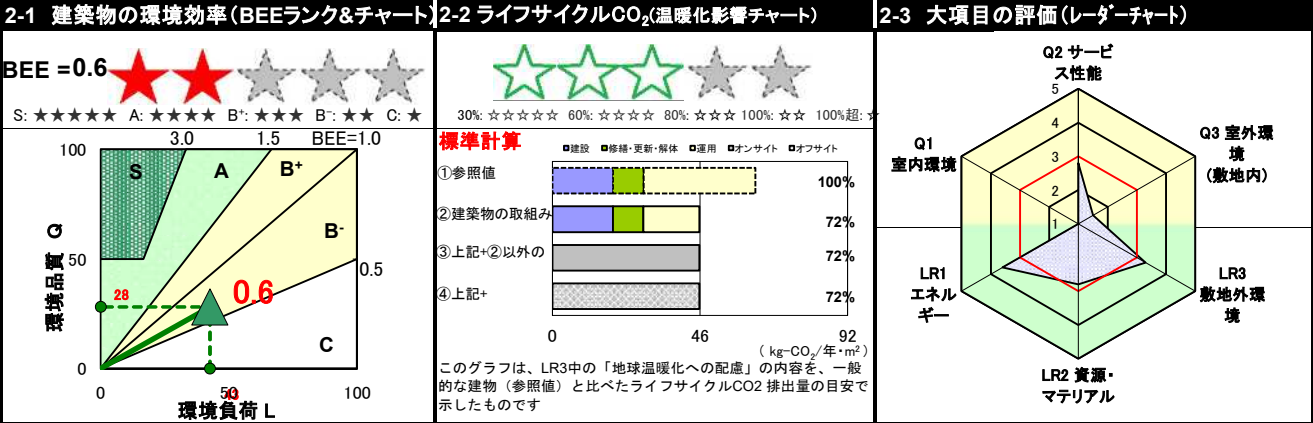
建築物名称	志田紙工株式会社 工場 新築工事
受付日	令和8年6月3日
建物所在地	静岡県富士市比奈字中溝619番10,619番19,619番20,619番21,619番22・富士市字下藪田281番3,281番9
構造規模等	鉄骨造／地上2階／延床面積2, 614. 10平方メートル／新築
建物用途区分	事務所,工場
建築主	志田紙工株式会社 代表取締役 志田 直史
設計者	株式会社 ゆたか建築設計事務所
工事完了予定日	令和9年3月31日

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

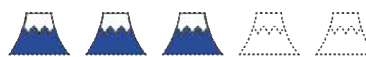
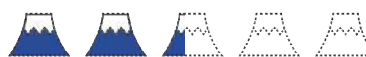
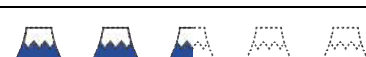
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	志田紙工株式会社工場	階数	地上2F
建設地	静岡県富士市比奈字中溝619番10.6	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	15 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,450 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年6月 予定	評価の実施日	2026年4月25日
敷地面積	4,981 m ²	作成者	吉永 敏久
建築面積	2,368 m ²	確認日	
延床積	2,614 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	シンプルなお外観とすることで周辺環境への配慮を図りつつ、省エネ性能向上を図る設備機器の採用、一部再生材の利用により、LCCO ₂ の排出率を抑える計画とした。 *これはCASBEE静岡(2024版)による評価結果です。	その他 特になし
Q1 室内環境	特になし	Q3 室外環境 (敷地内) 建物高さ、位置等周辺のまちなみ景観への配慮をした計画とした。
LR1 エネルギー	効率的な設備機器の選定により省エネを図る計画とした。	LR3 敷地外環境 省エネ機器を採用するなどライフサイクルCO ₂ の排出率に配慮した計画とした。
Q2 サービス性能	階高をゆとりのある高さとし、室内の快適性と室内環境の向上を図りつつ、壁長さ比率を小さく抑え、空間の自由度を高めた計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が容易に分別できる等、部材再利用可能性向上への取組を考慮した計画とした。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要				
建物名称	志田紙工株式会社工場	BEE	0.6	BEEランク B- ★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点※/満点	取組み度	評価	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.0	/5		ふつつ 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.4	/5		がんばろう 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.2	/5		がんばろう 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.5	/5		がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 
				がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目									
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。											
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点					3.0				
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能				
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備				
				3.2	3.2.1	③	昼光制御				
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数				
					2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔				
				2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔					
				2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔					
				2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔					
				2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔					
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出				
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上				
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率運用)	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制				
			2			⑧	自然エネルギー利用				
			3			⑨	設備システムの高効率化				
			4	4.1		⑩	モニタリング				
				4.2		⑩	運用管理体制				
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)	LR-2	1	1.1		⑪	節水				
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無				
					1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無				
			2	2.1		⑫	材料使用量の削減				
				2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用				
				2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
				2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
				2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材				
				2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み				
			3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用				
				3.2	3.2.1	⑬	消火剤				
					3.2.2	⑬	断熱材				
					3.2.3	⑬	冷媒				
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮				
			2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善				
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点					2.4				
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性				
					2.1.2	⑯	免震・制振性能				
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備				
					2.4.2	⑰	給排水・衛生設備				
					2.4.3	⑰	電気設備				
					2.4.4	⑰	機械・配管支持方法				
					2.4.5	⑰	通信・情報設備				
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点					2.2				
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画				
			3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり				
					3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ				
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上				
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点					2.5				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出				
			2			㉒	まちなみ景観への配慮				
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上				
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材				
		LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善				